

ごみステーションの カラス被害を減らすには



カラスが街中に増えたのは、人間が出すごみの中にカラスの餌が豊富なためです。

カラスは雑食性で、肉から植物まで、あらゆるものを食べます。

本来、自然界に暮らすカラスたちの役割は、小動物の死骸などを処理する掃除屋さんです。しかし、ごみステーションという効率的にエサを得ることができる場所を知ったため、狙うようになりました。

また、カラスは行動範囲が広く、今いるカラスを捕獲してもエサになる生ごみがなくなる限りあちらこちらから新顔が集まってくるのです。

対策として、次の2点を周知徹底していただきますようご協力をお願いします。

- できるだけ食べ残しなどの生ごみを減らす
- 生ごみを出す場合は、水分を切り小さい袋に入れるなど工夫をする

そこで基本のエサ対策（生ごみをカラスのエサにしない）を中心に減らしていくことにしています。今後も引き続き、みなさんの協力をお願いします。

カラスのエサとなる物（食べ残し、野菜の切りくず）を出す場合の工夫

牛乳パック使用例



①牛乳パックをハサミなどで切る



②生ごみを牛乳パックに入れる



③しっかりふたをして輪ゴム・ヒモなどでとめる

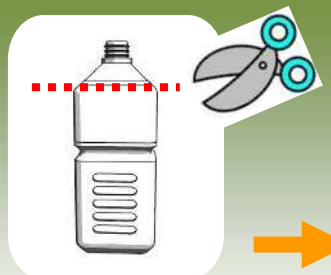


④もやすごみの袋の中ほどに入れる

カラス元気なし



ペットボトル使用例



①ペットボトルをハサミなどで切る



②生ごみの水分をしぼる



③ペットボトル入れ、切り口をテープなどで止める



④もやすごみの袋の中ほどに入れる

もやすごみ

ごみは 収集当日の
朝8時までに出してください



生ごみ



ハンガー



かさ



カミソリの刃類



資源化できない紙・布類



紙おむつ類



再資源化できないその他プラ



「その他プラ」以外の
プラスチック製品



使用済小型家電

※小型家電回収(ボックス回収)も
ご利用ください



皮革



ゴム類

お願い

- 生ごみは、よく水を切り、新聞紙や別の袋などで2重に包むなどして、もやすごみの袋の中ほどに入れて、カラスの目につきにくくする。



- ごみは収集当日の朝8時までに出してください。

- ごみステーションの日常管理は、利用する地域の皆様で行っていただきますようお願いしています。清潔なごみステーションを保つため、利用者一人ひとりが常に適切な利用を心がけ、地先提供者に対しても迷惑をかけないよう利用者皆様に管理を行いましょう。



収集日以外のゴミ出し
NG! X

